



# 「楽一<sup>®</sup>通信」(2008年11月号)

住友化学株式会社(TEL03-5543-5783), 株式会社上野(TEL028-656-3003)

## 1. はじめに

「楽一」は、倒伏軽減剤入りの被覆肥料を水稻の生育に合わせて配合した究極の基肥一発肥料です。本年は、栃木県内の現地農家様にご協力をいただき、「楽一」の調査活動を行いました。「楽一通信9月号(Vol.3)」(収穫期)に引き続き、11月号は収穫期にサンプリングした代表株の収量調査結果報告をお届け致します。

## 2. 実施日および調査圃場

- 収穫日：2008年9月10日(水)
- 調査圃場：宇都宮市内の現地農家圃場(写真1)。5月16日植えのコシヒカリです。
- 調査区：「楽一20S」と2種類の「他社一発肥料」と稲株の様子を比較しました(写真2)。

## 3. 調査結果(表1)

- 水稻の精玄米収量は、穂数、1穂粒数、登熟歩合、精玄米千粒重の4つの要素に分けて考えることができます。
- 楽一区では穂数を多く確保でき、1穂粒数は75粒程度で、 $m^2$ 当たりの総粒数も3万粒でほぼ適正でした。
- 総粒数との関係で登熟歩合はやや低くなりましたが、千粒重は大きく、精玄米収量は他区より多くなりました。
- 一方、玄米中のタンパク含有率も良食味基準の7.0%以下となり、玄米の品質は良好でした。

表1. 収量および品質調査の結果

試験区	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	1穂粒数 (粒)	総粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	登熟歩合 (%)	千粒重 (g)	精玄米収量 (Kg/10a)	タンパク (%)
楽一20S	421	75	31,796	72	24.0	505	6.5
他社一発肥料A	361	64	23,139	89	23.8	454	6.6
他社一発肥料B	270	97	26,112	75	23.1	430	6.3

※千粒重、精玄米収量、タンパク含有率は含水率15%に換算表示した。精玄米は粒厚1.8mm以上とした。



写真1. 楽一試験田の様子



写真2. 稲株の比較

「楽一」に関するお問合せ先 株式会社上野まで  
 (住所) 〒321-0911 宇都宮市問屋町3 1 7 2-4 7  
 (電話) 028-656-3003